



～いと～



知-ガン

さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗!

野木町立野木中学校 学校だより

令和6年度9月 特別号 文責:校長 星 育夫

全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査の結果について

4月18日に第3学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査と第2学年を対象に行われたとちぎっ子学習状況調査について、本校の分析結果の概要を御報告いたします。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

○全国学力・学習状況調査の結果について

- 1 教科に関する調査について 全国・栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある

国 語

- ◇本校の平均正答率は、全国、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇「自分の考えが伝わる文章になるように工夫して説明する」など「書くこと」に関する問題
- ◆「文章中の情報と情報との関係を説明したものを選択する」問題

数 学

- ◇本校の平均正答率は、全国、栃木県の平均正答率を大きく上回っている。
- ◇「データの活用」に関する問題
- ◆「数学的な表現を用いて説明する」、「道筋を立てて考え、証明する」など記述式の問題の正答率が全国、栃木県の平均正答率を大きく上回っているものの、正答率は35%にとどまっている。

- 2 生徒質問紙に関する調査から 全国・栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある

- ◇学校の授業以外の1日当たりの勉強時間（塾等含む）
- ◇「自分には、よいところがある」、「先生は、あなたのよいところを褒めてくれる」
- ◆授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること。

○とちぎっ子学習状況調査の結果について

- 1 教科に関する調査について 栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある

国 語

- ◇本校の平均正答率は、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇「資料から読み取ったことをふまえて、自分の考えを明確に書く」など「書くこと」に関する問題
- ◆「場面と場面、場面と描写など結び付けて内容を解釈する」など「読むこと」に関する問題

社 会

- ◇本校の平均正答率は、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇「複数の資料から読み取った内容を関連付けて考察し、表現する」など記述式の問題
- ◆1学年歴史で最初に学習した内容

数 学

- ◇本校の平均正答率は、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇「データの活用」の問題
- ◆おうぎ形や円柱など円に関する図形の問題。図形では、内容によって理解度に大きく差があった。

理 科

- ◇本校の平均正答率は、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇質量パーセント濃度や音の速さの求め方の計算など、エネルギー分野の理解度が高い。
- ◆地震に関する問題の正答率が低い。

英 語

- ◇本校の平均正答率は、栃木県の平均正答率をやや上回っている。
- ◇「聞くこと」の問題と現在進行形の肯定文を書く問題
- ◆三人称単数現在形を書く問題や how many を用いて数をたずねる疑問文を書く問題
- ◆対話文の中で必要な情報を読み取ること

2 生徒質問紙に関する調査から

栃木県平均と比較して ◇良い ◆課題がある

- ◇「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」
- ◇家族の人との関わりに関すること
- ◆自分の考えを文章にまとめて書くこと
- ◆将来のことに関すること

○学習状況調査の結果を受けて

学校

- ①授業の中で自分の意見をもてるような場面を設定
- ②ICT機器の効果的な活用
- ③進路学習の充実

家庭

- ①学校でのできごとや将来のことなど子供と会話すること
- ②規則正しい生活習慣

校長からのメッセージ

4月に実施した調査の結果から、野木中学校の2, 3年生は全体的にみて、どの教科も確実に基礎学力をつけていることがわかります。授業や家庭学習に真剣に取り組む野木中生のよさが表れています。一方、学習内容を実生活や自身を取り巻く社会と結びつけて自分の考えを持ったり、それを他者にわかりやすく伝えたりすることが苦手であるという傾向も見られます。成果と課題を学校全体で共有し、「生徒にとってわかる授業」「ワクワク授業の展開」に重点をおいた授業改善、学校課題「協働的な学びを充実させる学習指導」に努めて参ります。

将来の夢や目標などが見えてくると、子どもたちは学ぶことの意義や必要性に気づき、主体的に学習に取り組む意欲も高まります。子どもたちの「学びに向かう力」の基盤は、健康な体と規則正しい生活リズムです。人格形成、学力向上のベースは家庭において育まれます。子どもたちを育むパートナーとして、引き続きご協力をお願いします。